

技術の名称

## 通信システム

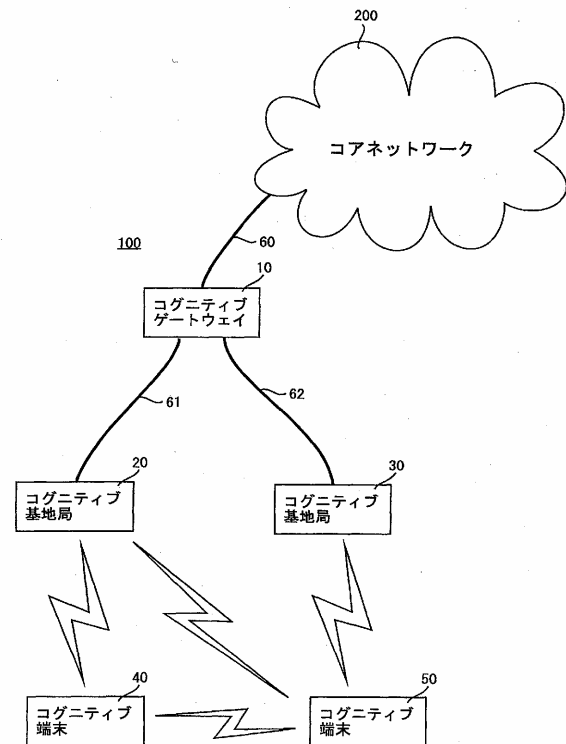
## 適用分野

コグニティブ無線通信、マルチホーミング

- 目的 遅延時間を測定するための負荷を軽減し、複数の通信経路間の遅延時間差を容易に測定することができる通信システムを提供する。
- 効果 通信システムを構成する複数の通信経路間の遅延時間差を容易に測定することができ、その測定のための負荷を軽減することが可能となる。

- 技術概要  
特記事項,図  
など

コアネットワーク200に連なったコグニティブゲートウェイ10は、コグニティブ基地局20、30とコグニティブ端末40、50との間の無線通信経路間の遅延時間差を測定するためのメッセージを生成し、そのメッセージをコグニティブ基地局20、30を介してコグニティブ端末40、50へブロードキャストするとともに、コグニティブ基地局20、30から複数の無線通信経路を介して受信した複数のメッセージの受信時刻を検出して複数の無線通信経路間の遅延時間差を測定する。



- 主たる提供特許 特許等の名称 : 通信システム  
登録番号 :  
出願番号 : 特願2006-133222 出願日 : 平成18年5月12日  
公開番号 :

- 実施実績 ○有、無
- 提供形態 ○実施許諾、×権利譲渡

お問合せ先 株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム  
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2  
Tel 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp